指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：令和7年度）

担当部署名	飯高地域振興局地域振興課
評価対象期間	令和　7年　4月　1日　～　令和　8年　3月　31日
評価対象年度指定管理料	800,236 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名　　称	松阪市飯高森林とのふれあい環境整備施設（つつじの里荒滝）
	所 在 地	松阪市飯高町赤桶1076番地3
	設置目的	森林資源等の自然環境を利用した保健休養と潤いの場をつくり、併せて地場産業と観光、交流を有機的に連携させることを目的とする。
	設備の概要	・敷地面積　5,981㎡ ・休養宿泊施設　木造2階建　349.92㎡　収容人員　30人 ・食堂　48.60㎡ ・コテージ　木造平屋建　29.83㎡×2棟　収容人数8人 ・コテージ　木造平屋建　30.30㎡×1棟　収容人数5人 ・食品庫　木造平屋建　14.58㎡　・ステージ　木造平屋建　44.70㎡ ・便所　木造平屋建　26.23㎡　・炊事棟　木造平屋建　24.30㎡ ・その他　植栽等

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名　　称	つつじの里荒滝運営協議会
	所 在 地	松阪市飯高町赤桶1076番地3
指定管理業務の内容		○ふれあい環境整備施設の運営企画に関する業務 ○ふれあい環境整備施設の維持管理に関する業務 ○ふれあい環境整備施設の団体登録に関する業務 ○ふれあい環境整備施設の利用の許可に関する業務 ○ふれあい環境整備施設の利用料金に関する業務
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	○ 営業日数　300日 宿泊本館　524人 コテージ　316人 キャンプ場　406人 日帰り　446人
	サービスの質の向上	○施設美化による快適な利用環境の確保
	施設・設備等の維持管理	○コテージの階段、基礎を修繕 ○宿泊棟ベランダ老朽化による立ち入り制限
指定期間		令和 5 年 4 月 1 日　～　令和 8 年 3 月 31 日

（単位：円）

			事業計画	事業収支実績				
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
事業収支推計	収入	指定管理料	800,236	800,236	800,236	800,236		
		営業収入	9,700,000	8,165,287	8,293,211	6,896,901		
		営業外収益		20	5,542	1,845		
		その他委託料						
		計（A）	10,500,236	8,965,543	9,098,989	7,698,982		
	支出	人件費	3,864,000	3,657,400	3,481,300	2,706,694		
		事務費	837,000	864,035	1,187,297	940,701		
		事業費	5,799,236	4,258,139	4,443,515	3,977,513		
		その他			330	4,665		
		計（B）	10,500,236	8,779,574	9,112,442	7,629,573		
	収支差引額（A）－（B）		0	185,969	△ 13,453	69,409		

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評価項目			指定管理者自己評価		担当部署評価	
業務運営項目		内容	採点	判定	採点	判定
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	5	B	4	B
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	4		4	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	4		4	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	4		4	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	4		4	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	4		4	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕･事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	4		4	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流･連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	4		4	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。**（注1）**	4	B	4	B
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	4		4	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	4		4	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	4		4	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	4		4	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	4		4	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	4		4	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	4		4	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	B	5	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	4		4	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	4		4	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	4		4	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		5	

【（注1）のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-（2）の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
【努力した点・成果等】 当施設の管理運営にあたっては、お客様が安全かつ快適に利用できる環境づくりを最優先とし、日常的な清掃・点検を徹底するとともに、景観の維持向上を図った。 安全面では、特に利用者が多くなる時期に巡回を強化し、事故の防止に努めた。 運営面では、限られた人員と予算の中で効率よく業務を進めた。	【評価すべき点】 ・施設や設備の管理について、清掃や点検により環境が整えられ、補助器具の設置や管理者による修繕で利便性の向上も図られている。 ・備品の更新や情報発信など経営状況の改善に向けて積極的に取り組みを進めている。
【改善すべき点】 来園者への情報発信については、繁忙期以外の魅力発信が十分とは言えず、年間を通じた誘客につながる取り組みが今後の課題である。 屋外トイレなど経年劣化が見られ、日常点検や応急的な補修により安全性、快適性の確保に努めているものの、部分的な対応では十分とは言えない状況である。	【指導すべき点】 施設の魅力や、特色ある取り組みを検討、情報発信を行い、利用者増加に努められたい。

【所属長意見（今後の方向性等）】

・本施設は、観光交流人口の増加と地域振興のために地域にとって必要な施設である。

・施設の老朽化等の課題を抱え厳しい経営状況は続いているが、地域からの全面的な協力を得て継続可能な経営を図られたい。

・自然に恵まれた「つつじの里荒滝」のロケーションの良さをＳＮＳ等で発信し、利用者の増加に繋げていただきたい。

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されていない。 早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	５が半分以上かつ残りも３以上
B	全てが３以上
C	２が含まれる
D	１が含まれる